



青柳園だより

令和3年
1月号
文京区立青柳幼稚園

丑年 一步一步着実に

園長 多比良 由恵

新年あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界中が大きな困難に直面した1年となりました。

2021年は丑年です。十二支の動物の中で最も動きが緩慢で歩みの遅い丑（牛）の年は、「先を急がず一步一步着実に物事を進めることが大切な年」と言われているそうです。そんな丑年の豆知識をご紹介します。

○機械がまだ発達していなかった時代、牛は農作業に欠かせない動物でした。黙々と重労働を行う牛は「誠実さ」の象徴とされ、十二支に加えられました。そのため丑年は「我慢（耐える）」や「発展の前触れ（芽が出る）」を表す年になると言われています。

○「丑」という字は、手で何かを掴もうとする様をあらわした象形文字です。今まで曲がっていたものを伸ばす、というところから「始める」「結ぶ」「掴む」などの意味をもちます。
〈出典：アサヒ緑健 みどでん新聞〉

1月7日には東京都と埼玉、千葉、神奈川の3県を対象とする2度目の緊急事態宣言が発令されました。1週間先、1ヶ月先の予測も難しい、誰も経験したことのない困難な状況は続いています。丑年であることを心に留め、一步一步着実に歩みを進めていきたいと思えます。

今年度のまとめである大切な3学期、青柳幼稚園では、教職員が知恵を出し合い、工夫し、子どもたちの学びの保障と感染予防に最善を尽くして、教育活動に取り組んで参ります。

保護者、地域の皆様、本年もどうぞよろしくお願ひ致します。



4歳児もも組『うしの紅白饅頭』



「べんきょうをがんばる」 「こくごをがんばる」

5歳児ゆり組『今年、がんばりたいこと』の初めの一文字

冬季休業中、モルモットのぷりんをお預かりいただきました皆様、
ありがとうございました♥